

まごころフェスタ開催

11月4日(月・祝)にまごころフェスタを開催いたしました。

「ワイワイみんなで楽しく医療に触れる一日」として、医療体験・相談コーナーをはじめ健康セミナー、模擬店や野菜販売、ピエロのパジャットのショーなどを行い、幅広い年代の方にご来場いただきました。

野菜販売

横山農園様より

ピエロのパジャット



模擬店



昆虫標本展



医療体験・相談



健康セミナー

コグニサイズ体験

がんサバイバー 牧野かおり氏による講演



相生山病院外来担当医師表

外来診療責任者 副院長 松浦 昭

診療時間	診察室	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:00	1診	越川	鈴木	神谷	後藤	奥田	奥田・鈴木
	2診	【予約診療】 佐藤(貴)	東	【予約診療】 佐藤(貴)	松浦	相馬	殿村
	リハビリ科	奥田	奥田	倉上	服部	服部	倉上
	内視鏡		松浦		山田	松浦	
14:00 ~ 16:00	専門外来	ポトックス外来 服部			摂食・嚥下外来 服部		
		ペースメーカー外来 奥田					
17:00 ~ 19:00	夜外来	鈴木	殿村	鈴木	松浦	【予約診療】 佐藤(貴)	

急患の方はいつでも診察いたします。

第56回 症例検討会

9月13日(土)14:00~

「大動脈疾患の診断と治療」 後藤 隆利 医師
大動脈の定義から、瘤の形状の違いや分類、大動脈計測方法、急性大動脈解離、治療方法、合併症など多岐にわたり解説頂きました。



第57回 症例検討会

11月8日(土)14:00~

「高齢者の低カリウム血症」 鈴木満 副院長
カリウム濃度の調整機構、高度低カリウム血症の迅速診断、低カリウム血症の症状・治療、症例など解説呈示して頂きました。



ボランティアレポート

相生山病院では長期療養患者様に、治療以外の生活の楽しみを感じていただき、療養生活に活気を持っていただくことを目的にボランティア活動を行っていただける方を受け入れています。



新年の挨拶

~5G時代の日本はどう変わる?~

皆様、新年あけましておめでとうございます。
相生山病院院長の佐藤貴久です。昨年中は相生山病院が大変お世話になり、心より感謝申し上げます。新年のスタートにあたり、一言ご挨拶申し上げたいと思います。



相生山病院院長 佐藤 貴久

近年のITの成長は目覚ましく、今後数年で我々の生活や仕事内容は一変すると言われています。そこで、今回はそのワクワクする近未来についてお話をさせていただきます。

皆様『5G』という言葉聞いたことがありますか?『5G』とは『5th Generation』の略称であり、『第5世代移動通信システム』を意味します。『1G』は1980年代のアナログ携帯電話時代で、初めて携帯電話が始まったものの、音声通話のみでした。『2G』は1990年代のデジタル無線時代でインターネットメールが携帯電話で可能になりました。『3G』は2001年より開始され、iモードやEZ Webなどのプラットフォーム上のサービス(静止画)が普及しました。『4G』は2012年より開始され、動画配信やモバイルゲームのような大容量コンテンツが普及しました。現在はこの4G時代です。

そして近未来に訪れる『5G』になると何が変わのでしょうか?『4G』から『5G』になることで大きく変化するのは ①高速大容量通信(20Gbps)、②超信頼・低遅延通信(1ミリ秒)、③多数同時接続(10⁶台/km²)の3項目と言われています。高速大容量通信では4Kや8K動画がスマホで閲覧可能になります。2時間の映画は3秒でダウンロード可能になります。VR(Virtual Reality: 仮想現実)という目の前の現実とは違う現実を体験する技術やAR(Augmented Reality: 拡張現実)という現実社会に新たな立体画像を追加する技術等を利用することにより、Googleを付けARを利用しての遠隔会議や、ライブやスポーツ観戦等で、目の前のマルチアングル、立体映像での観戦が可能となります。ゲームは遠距離間であっても一度に多人数での同時対戦が可能になります。

ビジネスモデルもB2CやB2Bと言われる企業(B: business)がお客さん(C: customer)に物を売る、もしくは企業が企業に物を売るという関係からB2B2Xと言われる企業と企業がインターネット等を通し協調して新しいことを生み出し、売る対象も企業・お客さん等多岐にわたるビジネスモデルが一般的となり、この仕組みにより業界の開発力は飛躍的な進化を遂げると言われています。

お知らせ

『健康になってちょ!』講演会のお知らせ

相生山病院では、皆様方のご健康を願い「健康になってちょ!」と題して健康教育講座を設けております。どうぞお気軽にご参加ください。

令和2年 2月1日(土) 「人生会議の大切さを知ろう」
15:00~ 佐藤 貴久 院長

ボランティア

令和2年 1月18日(土)
14:00~

三線(さんしん)演奏会
鳥居 亮 さん

場所:リハビリテーション室にて

講演会やボランティア参加のお問い合わせはTEL(052)878-3711へお電話ください。

次のページへ

自動運転も期待されています。自動運転はレベル0～5に分類されており、レベル0は手動、ブレーキ、ハンドルコントロールのどちらかの自動化が可能ならレベル1、両方ならレベル2、レベル3ならばほぼ自動運転で、緊急時のみ人が対応するレベルです。レベル4は限定地域での完全自動運転で2020年代に到達すると言われており、東京オリンピックが一つの節目になるでしょう。そしてレベル5の全域完全自動運転が可能になるのは2030年代と言われています。更には、完全自動運転の車をシェア(共有)し、定額サービスで利用可能な仕組みが出来れば、車は自分で持たない時代が来ることとなります。トヨタは既にここを目指しています。

医療・ヘルスケア分野でも「5G」により劇的な変化が訪れます。医療で使う画像は年々高精細化されており、今後は新しい2つの方向に進化を遂げます。1つはAI(人工知能)を使った診断です。もう1つは、容量が大きい高精細な医療画像を、場所を問わずいつでもどこでも使えるようにすることです。このことで、遠隔診療が可能となり、医療分野で問題となっている医師不足や医師の偏在により、医師が少ない地域でも質の高い医療を受けられるようになります。「ドクター・ツー・ドクター」(D to D)と呼ばれる医師と医師がCTやMRIなどの放射線画像をやり取りし、遠隔画像診断などを行うことは比較的早くから既に実用化されています。また「ドクター・ツー・パシエント」(D to P)と呼ばれる医師と患者間の遠隔診療も可能となり、離島やへき地だけでなく、都市部でも大勢いる医療難民に使用が可能になります。更に、この技術をコネクテッドカーや遠隔操作とかけ合わせれば、総合診療・各種健診へ対応する医療機器及び医師、更にはロボットアーム等を搭載した次世代移動診療車が、職場や各種施設、無医地区、災害現場などに赴き、総合病院との間で遠隔診療を行い、より広いエリアでタイムリーに高度な医療を提供することが可能となります。患部の立体的な形状をリアルタイムで取得して伝送し、VRやARの技術を活用して医師が臨場感のある患者の様子を見ることができれば、世界中においても特定の医師のみ施行可能な難易度の高い手術も、遠隔手術で行える可能性があります。そうなれば医師がわざわざ飛行機で飛び回らなくても済むようになり、大幅な時間と労力の削減に繋がります。またこうした五感の伝送は、医師不足の解消のみならず、もう一つの副次的効果があります。医師の五感がデータ化されるため、ベテラン医師の高度な技能を蓄積・再利用できるようになり、これを参考にして後進医師がトレーニングしたり、ロボットに教え込んで自動化したりできる可能性も出てきます。

ヘルスケア部門においては、個人の心拍や血圧、血糖値などが自宅にいても常時測定されており、異常値が出た場合、速やかに病院に連絡される等のシステムも一般化される可能性があります。IoT端末を大量に導入する医療機関も増えると思われ、患者さんが来院すれば受付を通らなくても顔認証で受け付けは終了し、電子カルテが開かれます。初診の患者さんもiPadに症状を話せば速やかに電子カルテに反映され、診療時間や待ち時間の短縮にも繋がります。このように「5G」時代が訪れると、AIやIoTと組み合わせたり、B2B2Xのビジネスモデルが主流になると世の中は一変してしまうのです。

どうでしょうか?ワクワクするような未来だと思いませんか?私はこの激動の時代に生まれ、大きく変わっていく世の中を間近で見ることが出来て幸せだと感じています。「5G」を利用した技術はあらゆる分野で進化を遂げることと思われませんが、折角この時代に生まれたのだから、最先端技術を活用した職場で働きたいと思いませんか。医療の世界でも「5G」の波は必ず訪れ、波に乗る準備がなければ、その波に乗り遅れた施設になってしまうのです。今の子供の65%は現在存在しない職種の仕事をするとされています。それ程の変化を想像できたでしょうか?あと数年後の話です。世の中は想像を絶するスピードで一気になら変わってしまうのです。

そして期待に胸膨らませる「5G」時代が到来した更にその後には、「6G」の時代に入ると日も実はもうそれほど遠くないのです。

本年が皆様にとって飛躍の年となりますことを心から願っております。

本年も何卒宜しくお願いいたします。

相生山病院 院長 佐藤 貴久

全日本病院学会 in名古屋国際会議場 9月28日(土)・29日(日)

第61回全日本病院学会が名古屋国際会議場にて、令和元年9月28日(土)・29日(日)の両日、「矜持〜今こそ示せ、医療人のプライド〜」を今回の学会テーマとして開催されました。病院職員や医療関係者の方々が多く参加され、盛会にて終了致しました。



清水会研究発表会 11月2日(土)14:00~

医療法人清水会の関連施設が集まり、研究発表会を開催しました。



まこと老人保健施設、介護・事務

「スポーツクラブ「まこすぼ」の取組みについて」

ひかり老人保健施設、介護

「作業活動の質の向上のための取組み」

相生山病院、外来看護・医事課

「平成30年度外来待ち時間調査」

相生山病院、地域連携室

「地域包括ケア病棟の在宅復帰率について」



リバーサイドケア赤池、介護・リハビリ

「足こぎ車椅子が片麻痺のあるお客様に与える歩行能力への影響」

豊明第二老人保健施設、リハビリ

「入所前後訪問指導加算Iを実施して実施状況と問題点についての検討」

グリーンヒルズケア相生、リハビリ

「膝関節疼痛緩和への取組み」

・豊明老人保健施設、医師

「認知症の行動障害、精神障害の中の性的逸脱行動、徘徊・離脱の事例についての検討」

医療安全管理研修会・院内感染対策研修会 11月6日(水)14:00~

医療安全管理研修会ではボンベやアウトレットの取扱い時にはどのような注意点があるかなど、また、院内感染対策研修会では疑似嘔吐物を用いて嘔吐処理を実践し正しい処理方法や感染対策のポイントを学びました。

(医療安全) 酸素ボンベとアウトレットの取扱いについて



(感染対策) 嘔吐物処理法について



消防訓練 10月24日(木)14:00~

消防訓練では、トリアージ(傷害の緊急度や重症度に応じて治療優先度を決める)訓練や消防署員による消火器の取り扱い方法などの指導をして頂きました。



第44回 医療法人清水会創立記念式典・永年勤続表彰



令和元年度 永年勤続表彰者

勤続
30年

● 松井 樹 (事務局長)

勤続
10年

● 平山 さゆみ (介護士)

● 近藤 真司 (介護士)

● 中島 香里 (介護士)

● 安井 真希能 (言語聴覚士)

● 毛受 和美 (看護師)

